

眼鏡やコンタクトレンズを着けなくてもよい生活に憧れる人は多いのではないのでしょうか。眼科治療の進歩は目覚ましく、白内障手術によって、そうした思いを実現できる可能性が出てきました。専門医が白内障の症状やレンズの仕組みなどを解説します。

## 知りたい! 治療の最前線

◇38

### 多焦点眼内レンズ

#### 一口メモ

富山大附属病院では、多焦点眼内レンズの手術を選定療養で行っている。希望する場合は近くの眼科で紹介状をもらい受診する。この他、白内障に限らず視力の低い人や「見えづらい」「まぶしい」などの症状のある人を対象に「ビジョンエイド外来」を開設している。

# 眼鏡不要の可能性も



宮腰 晃央

富山大附属病院  
眼科診療講師

私たちが物を見るとき、外から目に入ってきた光が角膜（黒目部分）と水晶体（レンズ）で屈折し、網膜（スクリーン）に像を結んでいます。この水晶体が濁る現象が白内障です。

#### 光を振り分け

水晶体が濁ると、光がうまく通過できなったり乱反射したりするので、視力が低下したり、光がまぶしく感じたりします。これらの症状が進行し、日常生活に支障を来すよう

例えば、遠くが見える度数の単焦点眼内レンズを入れた方は本を読んだり、字を書いたり、パソコンを操作したりする際、近用眼鏡、いわゆる老眼鏡を掛けなければなりません。

その点、多焦点眼内レンズは、外から目に入ってきた光を遠方と近方に振り分けることによって、複数の距離（2〜3カ所）にある物にピントが合うようになっています。ピントが合う距離は遠方で5歳

## 白内障手術で普及

になると、手術が必要になります。加齢に伴って進む、60歳以上の半数以上、80歳以上のほぼ全てで発症します。

手術は濁った水晶体を超音波で碎いて取り出し、人工の眼内レンズに入れ替える方法が普及しています。これまでの眼内レンズは単焦点で、患者さんの希望に沿ってピントが1カ所にのみピントが合うものでした。ピントが合わない距離にある物を見たいときは、ほとんどの場合眼鏡が必要でした。

多焦点眼内レンズ



単焦点眼内レンズ



単焦点眼内レンズと多焦点眼内レンズの見え方の違い。多焦点は複数の距離（ピント）が合うようになっています。（図）

近方は30歳、40歳、50歳、70歳です。近方の距離をどこに合わせるのかは、患者さんの希望や生活のパターンを考えて決めます。

例えば、眼鏡などでスマートフォンなどの細かい字を見れば30歳か40歳、眼鏡なしでパソコンやテレビを見たければ50歳か70歳を選ぶといった具合です。手術を受けた約9割の方が眼鏡なしで生活しているとの報告があります。

#### 万能ではない

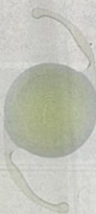
多焦点眼内レンズは、単焦点眼内レンズと比較すると高価で、誰にでも合う万能のレンズというわけではありません。単焦点眼内レンズが1カ所の焦点に合わせているのに対し、多焦点眼内レンズは複数の箇所

に光を振り分けるので、見え方の鮮明さが少し劣ります。また、夜間の運転時にライトを見ると、光の輪やまぶしさを感じることもあります。緑内障や網膜の病気など白内障以外の目の病気があるなど、多焦点眼内レンズの適応がありません。

富山大附属病院では、白内障手術や多焦点眼内レンズに関する相談、診察を毎日受け付けています。手術の場合、原則として翌日に退院できます。

多焦点眼内レンズの手術は、4月から高度先進医療から選定療養になり、片目につき15〜22万円の自己負担となりました。単焦点、多焦点のどちらの眼内レンズがよいのかは、目の状態や生活スタイルなどによって異なります。眼科医とよく相談の上決めていただきたいです。

◇ 次回は19日に掲載します。



眼内レンズには同心円状の溝が掘ってあり、遠くと近くを光を振り分ける日本アイ・ピーエー提供。